

2007年10月1日

各位

株式会社ピクセラ  
(東証一部 6731)

## ピクセラ、株式会社シンセシス(連結子会社)が 地上デジタル放送対応のダイバーシティOFDM復調技術を開発

株式会社ピクセラ(代表取締役 藤岡 浩)は、当社連結子会社である株式会社シンセシス(代表取締役 池本 敬太)がダイバーシティOFDM復調技術の開発に成功し、地上デジタル放送向けのIPとして評価ボード上での動作を実証できたことを発表いたします。

今回、株式会社シンセシスが開発したOFDM復調技術は、日本の地上デジタル放送方式ISDB-T<sup>※1</sup>に準拠したフルセグOFDM<sup>※2</sup>復調技術で、評価ボードによりその性能を実証しました。独自で開発した4チャンネルのダイバーシティ方式<sup>※3</sup>を組み込むことにより、高速移動時において極めて安定した受信性能を実現することに成功いたしました。また、電波の弱い地域、地形やビルなどに起因する複雑な電波伝播環境下においても地上デジタル放送の良好な受信が可能となります。

これにより据え置き型のパソコン、テレビだけでなく、持ち運んで利用されるノート型パソコンやポータブルテレビ、さらにはカーナビゲーションシステム、携帯電話などのモバイル端末に至るまで、あらゆる製品に幅広く応用することができ、今後、地上デジタル放送の普及とともに拡大する様々な製品への展開が期待されます。

### 【今回、開発したOFDM復調技術の主な特長】

- 250km/h以上の高速移動受信を達成<sup>※4</sup>
- 車載用途を想定し、4ブランチ周波数ダイバーシティ機能を搭載
- 独自技術によるアンテナ指向性制御機能<sup>※5</sup>の搭載が可能
- スタンバイ時のEWS(緊急警報放送)検出機能を搭載



OFDM 評価ボード

### 【株式会社シンセシスについて】

株式会社シンセシスは産学連携のベンチャー企業を目指し、1998年に設立。以来、高集積度かつ高性能のLSI、応用システムの設計、大規模シミュレーションモデルやアプリケーションソフトウェアの開発を進めております。当社は、2006年1月に同社第三者割当増資を引き受け、連結子会社といたしました。

※1 ISDB-T: Integrated Services Digital Broadcasting - Terrestrial 日本の地上デジタル放送方式

※2 OFDM: Orthogonal Frequency Division Multiplexing (直交周波数多重方式)

複雑な電波伝播環境下での信号受信に優れ、周波数の利用効率も高い無線通信方式

※3 ダイバーシティ方式: 複数のアンテナ・受信系を備え、それらを分析・合成することにより受信性能を上げる技術

※4 チャンネル 28、TU-6 条件下でのボードによる評価

※5 アンテナ指向性制御: 受信状態により、アンテナの指向性を動的に変化させ高感度を維持する技術

以上

### ■ 本リリースのお問い合わせ先

#### 【製品に関するお問合せ】

株式会社シンセシス 営業担当 TEL: 06-6633-3011

本社 〒556-0011 大阪府大阪市浪速区難波中 2-10-70 パークスター 5F URL: <http://www.synthesis.co.jp/>

#### 【IRに関するお問合せ】

株式会社ピクセラ本社 IR 担当 TEL: 06-6633-3500/FAX: 06-6633-3550